



誠心ファミリー

第
10
号

発行日 平成16年5月1日(土)
 発行者 誠心会会長 下采一彦
 呉市本通6-2-23 ☎/FAX0823-25-0460
 谷本誠一 E-mail:sss2001@nifty.com
 http://homepage2.nifty.com/ssss2001/

グリーンピア安浦の購入は慎重に

ポートピアの教訓を忘れるな!!



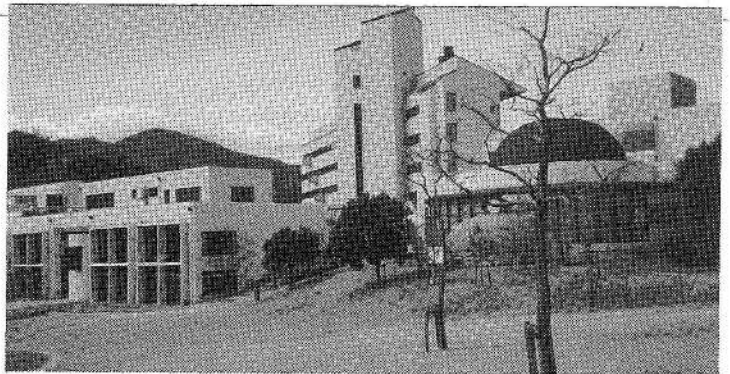
▲呉市議員 谷本誠一

昨年4月の下蒲刈町編入合併に引き続き、今年4月には川尻町が晴れて呉市になりました。それを受け来年3月20日には音戸、倉橋、蒲刈、安浦、豊浜、豊各町が編入され、人口26万人の大呉市がいよいよ誕生致します。

さて2月26日に行われた広域行政対策特別委員会で、呉市は**グリーンピア安浦**購入の意志を表明しました。①土地代を県が持つ②こどもの国等の県有財産の無償譲渡③経営の民間委託—を条件に、約5億円で取得しようとするものです。ところが所有者の呉市にとっては、年2千5百万円の維持費に加え、10年後には大規模修繕費が6億円もかかることが予想され、見た目ほど得な買い物ではありません。受託する民間企業は、自社で所有するのと比較して、①固定資産税や不動産取得税、法人税等②ホテルの賃借料

観光都市・呉への脱皮を目指して!!

③減価償却費—が不要とあって、甘い汁が吸えます。その分は逆に目に見えない形で呉市民が負担することになります。企業倒産のリスク等も考えると、いくら損失補填を呉市がしない条件での契約と言っても、将来に禍根を残しかねません。

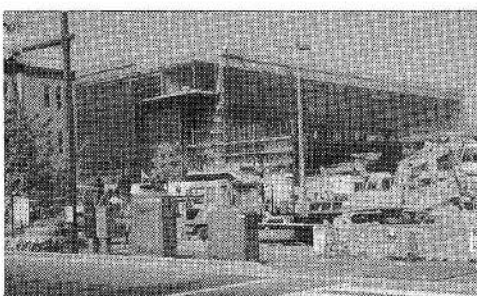


▲国の年金政策失敗の象徴、グリーンピア安浦

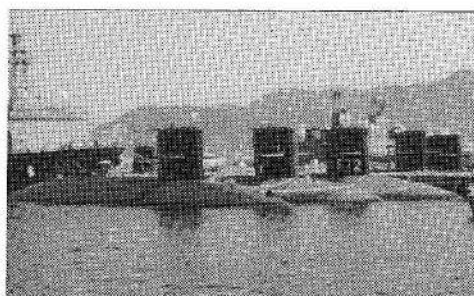
私は、呉市が資本参加したポートピアランドの失敗をよき教訓とし、国民の年金保険料を原資とした融資でのグリーンピア経営は国策の失敗である、との論陣を展開。そのつけを回されるような愚策を本市として安易に採るべきではない、と主張しました。

しかも合併により川尻・野呂山、蒲刈・県民、倉橋・桂ヶ浜の浜等、既存の音戸ロッジに加え宿泊施設や温泉は増える一方です。これらと下蒲刈の朝鮮通信使資料館を連携し、来年4月オープンする**大和ミュージアム**と呉駅南区画で建設が決まったマンション等の複合施設を拠点にした観光に力点を絞るべきです。又海事科学館隣接の市有地を昭和町の防衛庁所有地と等価

交換し、再来年の**海上自衛隊資料館**の開館に併せ、アレイからすこじまに本年度駐車場を整備することが決まりました。この双方に共通するのは**潜水艦**。呉市にはオンリーワンの観光資源があるのです。

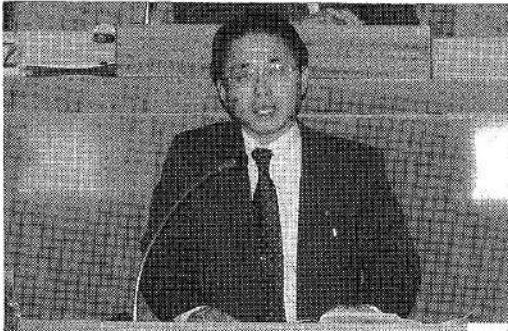


▲建設中の大和ミュージアム



▲アレイからすこじまの潜水艦群

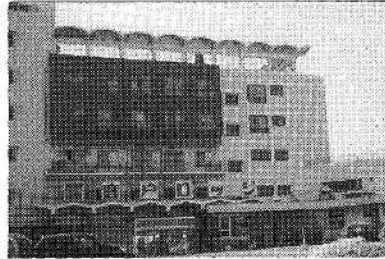
一般質問 音戸ロッジ建て替え、税金投入待った!!



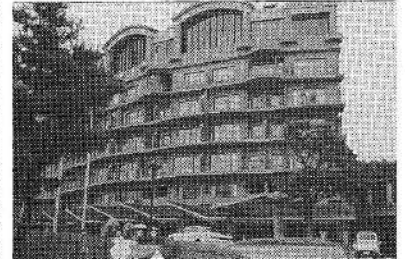
▲再選後初の一般質問に立つ谷本氏

昨年12月8日の本会議一般質問で、谷本議員は再選後初の一般質問を、所属会派を代表して行いました。

呉市は、昭和37年に建築した経営難の音戸ロッジを建て替えありきで再建築を検討中。これまで宿泊稼働率が年平均18%と低迷。日招きの湯と百周年で一昨年は22%。



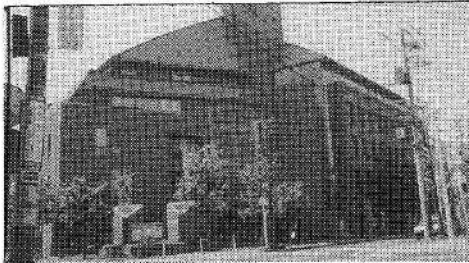
▲老朽化した音戸ロッジ



▲国民宿舎日本一の鶴の岬

巨額税金投入の前に、茨城県国民宿舎・鶴の岬のサービス徹底による稼働率97%を見習うべきと訴えました。

情緒・知的障害児に愛の手を！療育相談が実現



▲福祉相談はすこやかセンターで

自閉症、多動性、学習障害、ダウン症等の情緒障害児が最近増加しています。谷本議員は一般質問で、知的障害児も含めた相談窓口の必要性と学校教諭の専門性向上を訴えました。その結果、今年4月よりすこやかセンターでの専門医師による療育相談事業に480万円の予算がつけました。

介護者のための悩み相談開始

被介護者に対する相談は充実していますが、介護者自身の悩みの相談窓口はありませんでした。谷本議員は、介護を卒業された方々の協力を得て保健師が話を聴く「介護者のための悩み相談」を提案。それを受けこの4月より、すこやかセンターと東保健所でスタートしました。

男らしさ、女らしさ尊重し、教育現場の清浄化を

呉市では男女共同参画の美名の下、男女混合名簿が37小学校中20校もあります。更に男女混合徒競走は27校で実施しています。谷本議員は、男らしさ、女らしさを否定することなく、誤ったジェンダーフリー思想で性の秩序が乱れないよう、教育現場への指導徹底を要請しました。

条例改正 放置自転車再利用

市が撤収した放置自転車を即廃棄可能にする改正自転車放置防止条例が12月議会で成立。これに先立ち谷本議員は、整備士への撤収自転車売却条項を提案し追加されました。これで安全な整備自転車として再利用されます。



▲呉駅前周辺の不法駐輪自転車



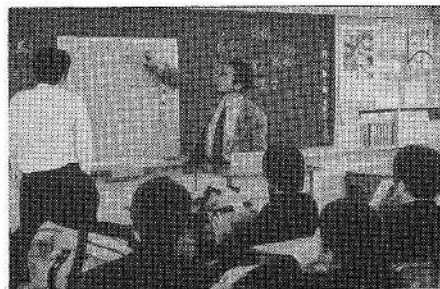
▲風呂なし市営住宅新入居者に朗報

市営住宅 私設風呂再使用へ

谷本議員が1期生の時、旧式市営住宅に先住人が設置したユニットバスを、転出時に市が無償で引き取り、新規入居者に無償貸与することを提案。それを受け平成15年度より、設置後7年以内を条件に可能となりました。

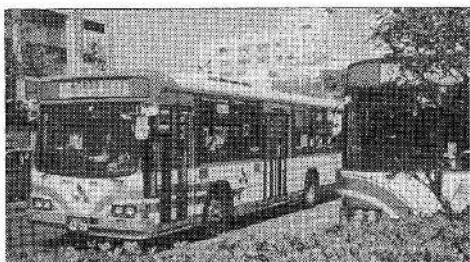
〔予算委〕文化ボランティアの学校教育登用を!! インターネットで「きらりすと」検索化実現へ

生涯学習推進のため、得意な文化技能者のボランティア登録制度「きらりすと」があります。3月の予算特別委員会で谷本委員は、呉市ホームページにリスト掲載を要望し、同意を得ました。更に公民館講座や学校教育現場へ積極的に登用し、生徒のレベルアップに貢献させるよう提案しました。



▲中学授業で将棋指導の谷本氏

バス敬老優待、健康増進へ転換



▲ワンコイン負担を決めた市バス

呉市営バスによる70才以上運賃無料・敬老優待証を、7月1日より、一律百円負担して頂く**ワンコイン制度**がスタートします。これにより通年ベースで8億円近く税金で補っていたのが4億円弱で済み、他の福祉施策へ回せます。受益者負担により、お年寄りの社会参画意識の高揚と、歩くことによる健康増進にも一役買うことが期待されます。

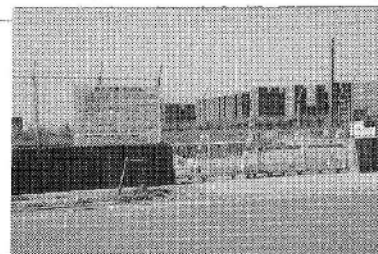
乳幼児医療扶助、就学前延長へ

呉市では乳幼児に対する医療費を通院は3才迄、入院は就学前迄と、所得制限付きで無料化して来ましたが、3月予算委で谷本委員は、広島県の新制度に合わせ、入通院共に就学前迄対象範囲を広げる代わりに、日数上限を設定の上、一律5百円負担制度を導入すべきと意見しました。そのことで食生活や運動促進等の健康管理に保護者の意識が向かいます。国では乳幼児医療無料化制度はなく、その分県と呉市で折半助成することになります。

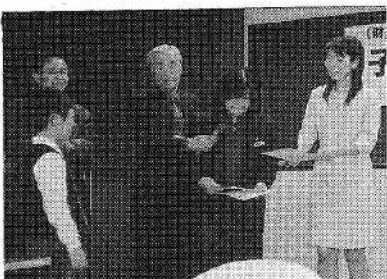
〔民生交通委〕指定袋でごみ減量化

種別	容量等	H.16	H.18	備考
		10月	4月	
可燃ごみ	小 10ℓ	10円	10円	半透明
	中 20ℓ	15円	20円	
	大 40ℓ	20円	40円	
不燃ごみ	小 10ℓ	10円	10円	透明
	中 20ℓ	15円	20円	
	大 30ℓ	20円	30円	
粗大ごみ	大	300円		シール1枚
	特大	600円		シール2枚

3年後に広多賀谷のごみ最終処分場満杯の危機が迫る中で、ごみの有料指定袋制導入を市が提案。3月の民生交通委員会で激論の結果、可燃ごみ大袋で10月から20円、再来年4月から40円と激変緩和を含めた2段で実施することが決まりました。しかしこれでは本来の目的の減量化につながらない危険性があります。谷本委員は市に入る収益を特別会計で目的化し処理費に回すことで、市民への啓発に役立てるべきと訴えました。



▲満杯目前の埋立処分場



▲谷本(左)と上川女流(右)

文化庁予算獲得、子ども将棋教室 呉市出身・女流プロ棋士を招へい

文化庁の(財)伝統文化活性化国民協会委嘱事業に、谷本議員による呉市主催・子ども将棋教室としての国への要望が実り、昨年9月、50万円の予算が決定。それを受け定員オーバーの小中学生40名が受講しました。最終日の今年3月20日には、谷本氏提案で呉市出身女流プロ棋士・上川香織初段を特別講師に迎えました。昔プロ棋士養成機関で修行した谷本議員は影の功労者として招かれ、子ども達に元気づけの挨拶と将棋の指導を行いました。

〔平成15年度〕谷本誠一、現場最前線主義の成果!!

①天応保育所ひさし等補修工事

H15.7/9~12

前年の改修で取り残された屋根のひさしを補修。裏門の扉改修で歩行スロープ常設が可能に。



②東川原石町市道・側溝補修

H15.7

歩行者安全対策で、路面補修と下水マンホール滑り止め蓋に。側溝補修により排水も万全に。



③吾妻市道側溝グレーチング修復

H15.9/13

側溝にかけてあるグレーチングが損壊。歩行者安全確保のため、即刻修復予算をつけました。



④本通5丁目堺川沿い市道改良

H15.10~H16.2/25

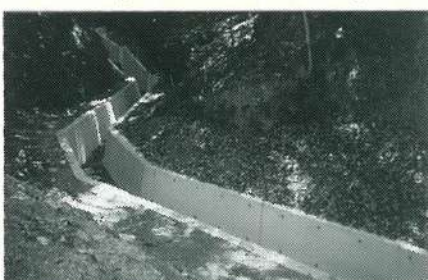
対岸と共に3年がかり。街灯6基新設、はなみずき植栽、水道管敷設換え、護岸整備同時施工。



⑤東鹿田川中流改修 (県補助事業)

H15.12/5~H16.2/10

昔の水害以来の懸案。途中で頓挫していたのを、県の補助金を獲得し市の予算をつけました。



⑥国道375号線・広弁天橋路面補修

H15.12/10~12

地盤がいたみ、地響きによる住民公害に。管理者たる県に直接要望して、予算をつけました。



⑦望地町急傾斜地崩壊対策事業

H15.12/19~H16.3

地元40人分の署名を添えて過去要望していたが停滞。それを4千万円の予算をつけました。



⑧本通7丁目交差点・道路標示変更

H16.3

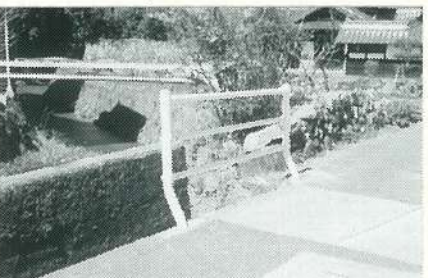
千福から海軍墓地へ抜ける国道との交差点。車道標示の矛盾を解消し渋滞緩和と安全に寄与。



⑨郷原市道ガードパイプ設置

H16.3/26

11月末、隣接の大谷川転落人身事故が発生。再発・危険防止ため即刻予算をつけました。



⑩郷原二級峡募苑前不法投棄物撤去

H16.4/13

8/25の休山登山道廃棄物撤収に続き、郷原旧道添いの不法投棄物を撤去。地元有志も協力。

